1
笑顔が『集まる』プログラム

1-1 選ばれる松山を目指す「都市ブランド力向上」プロジェクト

①将来のイメージ

「都市ブランド戦略プラン」に沿って、松山ならではの価値や魅力を市民が共有し、様々な分野でそれらを高める活動が活発に行われ、魅力に満ちた暮らしやすい都市が形成されています。観光や農林水産分野などのブランド化が進み、俳句甲子園をはじめとする「ことば」文化を生かした事業など、松山らしさを高める取り組みも活発に展開されています。

また、メディアを効果的に活用し、松山の魅力を広く全国へ発信することで、都市イメージの向上が図られ、松山に「行ってみたい」「住んでみたい」という人が増えています。

道後温泉や松山城など、数多くの魅力ある地域資源に多くの観光客が訪れ、旅館やホテルへの宿泊客をはじめ、修学旅行や企業の職場旅行が増えています。一度松山を訪れた人は、魅力ある観光地やおもてなしの心に触れることで松山が好きになり、リピーターとして訪れる人が増えてまちが元気になっています。

さらに、スポーツ合宿の受け入れ体制が整い、多くのチームが松山で合宿するようになったほか、プロスポーツの試合やイベントなどが増え、市内外の多くの人がスポーツに親しむようになっています。

そして、「ＪＲ松山駅」は、誰にでもわかりやすい案内表示の設置や施設のバリアフリー化が進められ、より便利で快適な県都松山の陸の玄関口として、多くの観光客をお迎えしています。

②主な取り組み

- 都市ブランド戦略の推進
- シティプロモーション*の推進
- 魅力ある観光地づくりの推進
- 農林水産物ブランドの推進
- ことば文化の内外発信
- スポーツイベントの誘致
- ＪＲ松山駅周辺整備

③将来のひとコマ

松山さん夫婦は、愛媛ＦＣの試合を観戦したあと、にぎわいスポットとして生まれ変わったＪＲ松山駅のお洒落なレストランに行きました。ここは、地元の食材を使ったおいしい料理を手ごろな値段で食べられることで有名なお店です。

テーブルに着くと、旅行者らしい夫婦と隣り合わせになり、話しかけたところ、東京から来られたそうで、松山を紹介するテレビ番組を見て、この店には初めて訪れたそうです。ご夫婦は、「松山に来るときには、海や山の幸をいちばん楽しみにしているんですよ。魚も野菜も、本当においしいですね。最近では、松山に職場旅行をする会社が増えているそうですね。私も5年前に会社の職場旅行で初めて松山に来たんですが、すっかり松山のファンになってしまいました。今では、年に2回は夫婦で訪れ、俳句ポストにも投句させていただいているんですよ。海から山まで季節ごとの楽しみ方ができ、あたたかい人が多く本当にいいところですね。」とほめていただきました。

うれしくなった松山さんは、ライムの入ったお酒をご馳走しながら、「おいしい果物もたくさん採れるんですよ。まつやま農林水産物ブランド*の「紅まどんな」や「せとか」、「カラマンダリン」は全国的に有名やけど、ライムも生産量が日本一になっとるんですよ。ほら、お酒に入れて飲んでもおいしいでしょ？」とちょっぴり自慢しました。

すっかり意気投合した4人は、松山で盛んな野球やサッカーなどのプロスポーツの話題で時間を忘れて盛り上がっていました。

1-2 元気な産業と人財が創り出す「経済活性化」プロジェクト

①将来のイメージ

産業立地のための用地の確保や道路、港湾、空港など、物流や人の移動などに必要な交通基盤が整備され、都市機能の利便性の高さや、勤勉で豊富な人材が確保できるまちとして、松山への進出に関心をもつ意欲的な企業が増加しています。

地元企業や地場産業に対しては、起業家や経営者、勤労者などの人材育成や県外・海外などへの販路拡大を図るなど、企業の成長につながる様々な支援に継続的に取り組んだことから、松山の企業が生み出す製品やサービスを求める地域外の企業との取引量が増えています。市役所には、新素材やエネルギーなどの分野で他地域から新しく松山に進出しようとする企業からの相談や、事業規模の拡大に関する相談が多く寄せられるようになっています。

そして、こうしたことにより新たな雇用が生み出され、地元のみならず市外からも多くの人が松山の企業に就職し、生活拠点としての基盤を市内で築く人が増えています。

また、仕事が終われば地域活動やボランティア活動をはじめ、習い事やスポーツ、家族との団らん、友人との交流など、誰もが思い思いの時間を過ごすことができるほか、子育てをしながら仕事もがんばる人が増え、仕事と生活の調和がとれる環境が整っています。

さらに、松山の将来を担う子どもたちに対しても、仕事の見学や就業体験を受け入れる企業や店舗が増え、熱心に指導してくれるなど、キャリア教育*が進められています。

②主な取り組み

- **企業誘致活動と立地環境整備の推進**
- **既存産業の活性化と成長産業の振興**
- **働き続けられる環境づくりの推進**
- **キャリア教育の充実**

③将来のひとコマ

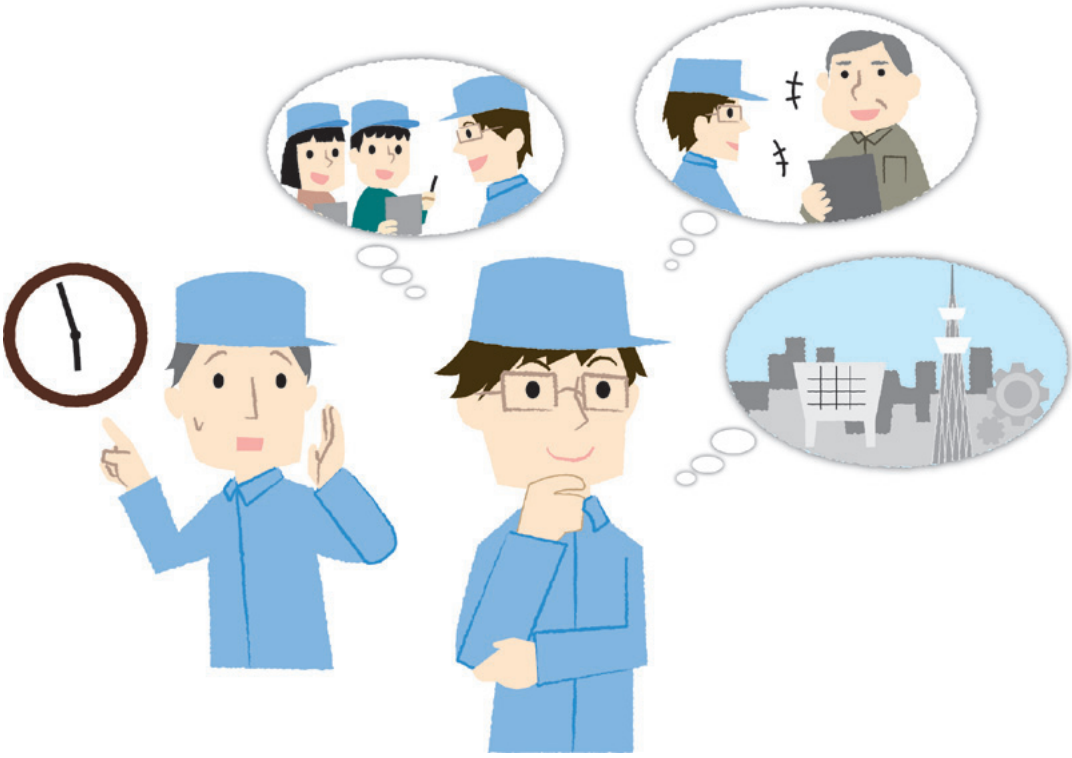
松山さんは、勤め先の工場を見学に来た小学生を送り出したところです。最近では、学校から工場見学や就労体験の受け入れを依頼されることが増えています。小学生のうちから、様々な企業を実際に訪れ、仕事の内容を間近に見ることで、世の中にはどのような仕事があるのかを知り、将来自分がどのような仕事をしたいのかを考えるよい機会になっていると松山さんは思っています。

「最近は、目を輝かせて工場を見学したり、質問をする子が増えとる気がします。将来の松山を担ってくれる子どもたちの成長が楽しみです。」と報告したところ、社長は、「そうなんよ。子どもたちの工場見学を積極的に受け入れてよかったと思いよるんよ。あの子たちが将来うちの会社で働きたいと思ってくれるよう、みんなで協力して頑張っていい会社にせんといかんなあ。」と言いました。

夕方、同僚が松山さんに、「来年松山に工場を新設する会社を訪問してきたんやけど、うちの部品を仕入れてくれるそうなんよ。あの製品は高い技術がないと製造できんけん、うちの会社の技術をとても高く評価してくれたんやねえ。熱心に訪問を続けた甲斐があったわ。」

松山さんは、「よかったなあ。あの製品は、松山市が行っている支援事業を受けて開発したんやったなあ。今度東京である展示会や産業まつりの準備もせんといかんけん、しばらく忙しい日が続きそうやな。」

「そういえば松山さん、今日は早よ帰るって言うとらんかった？」と同僚が言うと、松山さんは、「おっともうこんな時間や。今日は妻の仕事が遅くなる日やけん、わしが夕食をつくる番なんよ。それじゃ帰ってこうわい。」と慌ててスーパーに向かいました。



1-3 エネルギーや移動手段の見直しによる「低炭素型まちづくり」プロジェクト

①将来のイメージ

環境学習などをとおして醸成された自然環境保全に対する市民意識の高まりとともに、太陽光を中心とした再生可能エネルギー*の活用を促進する「松山サンシャインプロジェクト」のパートナーとして参加する企業やＮＰＯ*などが増加しており、地域が一丸となった効率的・効果的な取り組みが進んでいます。また、新エネルギー*分野に進出する企業も増え、新しい技術やサービスの開発も進められています。

市民の間では、太陽光発電や蓄電池、さらにはホームエネルギー管理システムという家庭のエネルギーを効率的に使用できる装置を導入する人が少しずつ増えています。これらの家は、発電装置による発電量や、家電などによる電力消費量の状況が「見える化」されているため、節電意識が高まっています。さらに、地域全体をネットワークで結び、電力を無駄なく効率的に利用することができるシステムの導入が進んでいます。

交通面では、バスや電車などを結ぶ交通結節点の整備などにより、公共交通の利便性が高まるとともに、幹線道路も整備され、道路の渋滞が減ることで、自動車の排気ガスが削減され環境負荷の低減につながっています。また、歩道や自転車道などの整備が進み、徒歩や自転車で移動する人が増えています。

これらの取り組みにより、スマートコミュニティ*の実現に一歩ずつ近づいています。

②主な取り組み

- 創エネルギー*・省エネルギーの促進
- 自動車から公共交通への利用転換の促進
- 歩行者・自転車といった「遅い交通*」のための都市基盤整備
- 環境に配慮した交通基盤の整備
- スマートコミュニティの構築

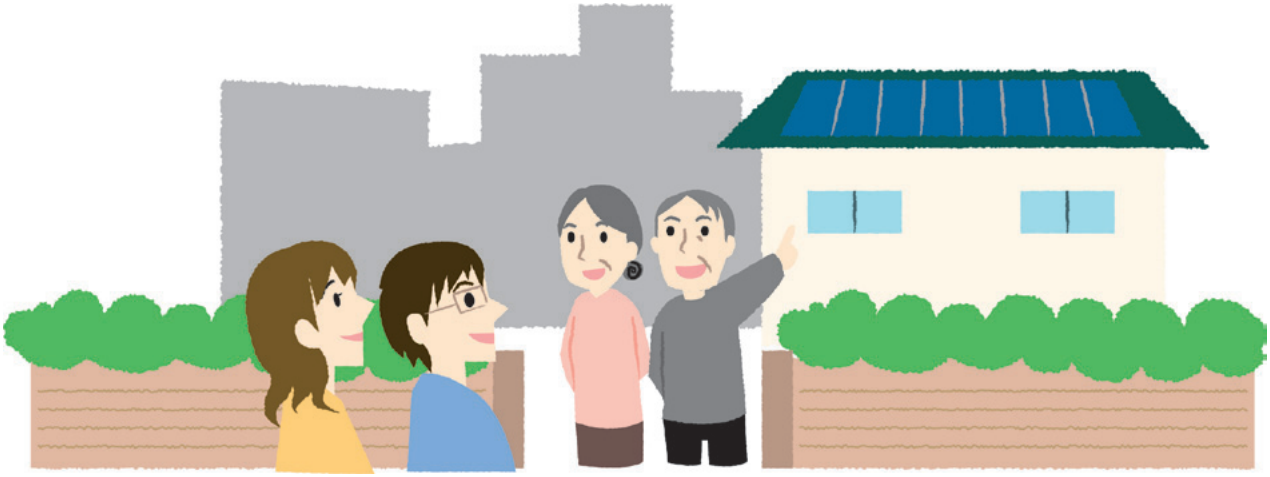
③将来のひとコマ

ある休日、松山さん夫婦は、松山さんの実家を訪ねました。両親が家を新築したので、そのお祝いをするためです。

松山さんの両親は、市内のＮＰＯが取り組む環境保全の活動に参加しています。以前から、節電や節水、ごみの減量・リサイクルなどに熱心に取り組んでおり、家を建てる時は環境にやさしい家にしたいと言っていました。

「できるだけリサイクル建材を選んで建てたし、屋根には太陽光パネルを付けて、発電もできるようにしたんよ。」お母さんが説明してくれます。「発電量や消費量も、台所のモニターで一目でわかるんよ。全部の電力をまかなうのは難しいけど、松山は日照時間が全国平均を上回っとるけん、発電量は他の地域と比べても安定しとると思うんよ。」

「思い切って省エネ家電に買い替えて、電力消費量も少なくなったけんのう。」お父さんも一緒に説明してくれます。「発電量がプラスになった時は、うれしいもんやのう。それに、外出していても、スマートフォンで電気の使用状況を確認できるし、消したい家電のスイッチを切れるんよ。便利になったわい。」

愛子さんが、「そこに電気自動車のパンフレットがありますけど、買い替えるんですか？」と尋ねると、「検討中なんよ。でもねえ、バス停まで自転車で行きやすなったし、最近は公共交通が便利やから、車を使うことが少ななったねえ。」とお母さんが答えます。お父さんも、「バスで買い物に行くんも、渋滞が少なくなったけんだいぶ楽になったなあ。最近は道路や駐輪場も整備が進んどるし、路上の放置自転車も少のうなって街中も歩きやすくなったなあ。歩くと健康にええし、環境にもやさしいし、一石二鳥！」と言います。

その後も、松山さん夫婦が新築祝いに持参した地元の鯛を食べながら、松山さんの会社が参加する「松山サンシャインプロジェクト」や、両親が参加する環境保全活動についての会話が続きました。